

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		川西市社会福祉審議会 児童育成専門部会		
事 務 局 (担当課)		こども部 こども家庭室 こども・若者政策課		
開 催 日 時		平成23年8月3日 14:00～15:30		
開 催 場 所		川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委 員	荒木委員 春日委員 喜谷委員 小島委員 中村委員 西尾委員 濱野委員 松本委員 真鍋委員 南委員 森下委員 森友委員 柳川委員 山上委員 山下委員		
	そ の 他			
	事 務 局	こども部 小田部長 こども家庭室 大屋敷室長 こども・若者政策課 山元課長 金淵主幹 枅川主査 大島 子育て・家庭支援課 田淵課長 児童保育課 小林(こども部)参事 塚北課長 健康福祉部 福祉推進室 杵田室長 健康づくり室 池田主幹 教育振興部 学校教育室 学校教育課 若生課長 教育支援室 教育情報センター 平岡所長		
傍聴の可否		可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		新委員委嘱辞令の交付 議題1 川西市社会福祉審議会児童育成専門部会会議公開制度運用要綱及び会議公開に係る傍聴要領について 議題 2 川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)平成22年度の進捗状況及び平成23年度の推進について その他		
会 議 結 果		別紙のとおり		

審 議 経 過

部会長	※ 新委員委嘱辞令の交付 ※ こども部長挨拶 ※ 委員自己紹介 ※ 事務局紹介 ————— 審 議 ————— 私が司会進行をこれから務めさせていただきたいと思いますが、その前に、一言、ご挨拶を申しあげます。昨今の社会状況を見ていますと、児童福祉の領域においても大きな曲がり角に来ておられると思われます。一つは、皆さんご存知のように、新聞紙上でやかましく取り上げられております児童虐待でございます。年間5万件の相談が児童相談所に寄せられた。しかも、それは、表面に現れたものだけで、実はもっともっと多いであろうと思われます。たとえば、アメリカは、日本の人口の2倍ございますが、アメリカで、親によるあるいは関係者による児童虐待の犠牲者になっているのは、約300万人いるといわれています。そして、毎週1人ずつ、あるいはそれ以上が、虐待で命を落としているということがいわれています。悲しいことに日本もだんだんアメリカに近づいていくのかなと思われます。この児童虐待につきましては、川西市は実践的な取り組みをしていただいているようで、素晴らしいことでありますが、少し視点を変えて、ご準備をしていただきたい面がございますので申しあげたいと思います。児童虐待に至るには、たとえば貧困・貧しいであるとか、あるいは望まれないこどもであるとか、あるいは障がい児であるとか、親の精神障がいであるとか、実にさまざまな理由がございます。しかし、そのすべての虐待ケースに共通する確かな側面が一つだけございます。それはどういうことかという、虐待する親は社会的に孤立しているということでもあります。「孤立している」つまり現代の無縁社会の体現がそこにあります。したがって、児童虐待を未然に防ぐためには、親の孤立をいかに防ぐかということが、大きな眼目になるかと思います。二つ目は、保育所があるいは幼稚園が、今、大きなこれも曲がり角になっていて、幼稚園と保育所をどのように調整していくか、姿にしていくか、政府、厚生労働省もいろいろ困っているという苦勞しているようですが、ここで私たちが考えなければいけないのは、この歴史のある幼稚園、あるいは保育所がそれぞれの立場を言い合っているはどうにもならないこれだけは確かであります。もう、幼稚園だ、保育所だといっている時代ではない。養育ということばやあるいは保育ということばは、これは、私が大学時代に先生に習ったことでございますが、保育ということばは当時の辞書には載っていませんでした。和製のことばらしいのですが、「保護教育」ということばの一番上と下を取って「保育」ということばができたと聞いております。つまり、養育の中には、教育の観点が欠かせないということでもあります。したがって、学齢前におき
-----	--

	ましても、教育の占める役割が非常に大きいということでございます。しかし、そのこどもを健全に育てていく上では、教育だけでは足りない。ですから、幼稚園も保育所とともに自分の立場を主張するだけでは、この事態は解決できないということになります。さらにいえば、保育所は保育に欠けるこどもを保育するという法律上の建前がありますが、これももう考え直したらどうかと私は思っています。といいますのは、今の日本の社会を見ていますと、社会の状態あるいは保護者の育児能力、その他いろんな地域社会の育児能力などをいろんなものを総合的に考えて、もう日本のこどもはすべてとっていいほど、すでに保育に欠けているのだということをいう考え方に立って、乳幼児保育のシステムを抜本的に保育所、幼稚園という民主党の政府もしきりに考えているようではありますが、現場におかれましても、そこを日本のこども全体の立場に立ちまして、親の立場というよりこどもの立場に立って考えていただきたいなと思います。このような曲がり角にきています。それは考えていただく際には、外国の事情も参考になりましょうし、事務局におかれましても、日々研究をしていただいて、川西市のこどもたちが少しでも幸せになりますように、われわれ委員を代表して、部会長からのお願いをいたします。 それでは、具体的な議事に入ろうと思います。議題 1、川西市社会福祉審議会児童育成専門部会会議公開制度運用要綱及び会議公開に係る傍聴要領について事務局からご説明をお願いいたします。
事務局	それでは、議題 1、川西市社会福祉審議会児童育成専門部会会議公開制度運用要綱（案）及び会議公開に係る傍聴要領（案）について、事務局からご説明申しあげます。この会議公開制度運用要綱は、本審議会の会議公開制度の運用に関し、必要な事項を定めるものであります。従前は、本市の社会福祉審議会の専門部会として、社会福祉審議会の会議公開制度運用要綱に基づき、審議会等の設置状況や開催日時等の公開、会議の傍聴、会議録の公開などを行ってまいりました。昨年、10月に「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」が制定され、その第10条に付属機関等の会議公開が規定され、今回、規定に基づき、社会福祉審議会児童育成専門部会の会議公開制度運用要綱を制定しようとするものです。また、会議の傍聴に関し、必要な事項を定めた傍聴要領につきましても、従前は、傍聴者に対し、傍聴人名簿への住所、氏名等の記載を求めておりましたが、個人情報の関係などから、今回その必要性について検討した結果、傍聴人名簿を廃止することとし、新たに傍聴要領を制定しようとするものでございます。以上のとおり、児童育成専門部会会議公開制度運用要綱及び会議公開に係る傍聴要領の制定を提案させていただくものでございますが、ご承認いただけますようでしたら、本日から施行し、今回の会議から適用させていただきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。
部会長	はい、会議公開制度の要綱を一部改正して、施行するものでございますが、皆様にかございますか。ないようでしたら、議題 2の方をお願いいたします。
事務局	それでは、議題 2、平成 22 年度川西市次世代育成支援対策行動計画（後期計画）

の進捗状況及び平成23年度の推進につきまして、事務局からご説明申し上げます。進捗状況に関する資料が資料2、3、4とございますが、まず、資料2につきまして、私の方からご説明申し上げます。まず、資料2の見方からご説明申し上げます。お手元の計画書の54、55ページをご覧ください。こちらのページには、本計画の施策の体系を記載しております。本計画は、「子どもたちが夢を拓き、子どもとおとなが育ち合うまちづくり」という基本理念のもと、「子どもの権利と安全を守る」「多様な子育て支援サービスを展開する」「母と子のいのちと健康を守る」「子どもの豊かな個性と生きる力を育む」「男女が参画し、地域でともに子どもを育てる」の5つの基本目標をもとに、それぞれの基本施策、取り組みの方向性を設定し、事業展開を行っております。では、資料2をご覧ください。げんきっこかわにし夢プランの表紙をめくっていただきますと横長の表が出てまいります。この表の左端から、計画の基本目標、基本施策、取り組みの方向性、事業といたしまして、事業No、事業名、担当所管、事業内容、平成22年度の実績、目標達成に向けた成果と懸案事項、23年度以降の実施予定、また、指標といたしまして、項目、計画策定時の値、平成22年度実績及び平成26年度計画終了時の目標値を記載しております。また、22年度の実績及び目標達成に向けた成果と懸案事項、平成23年度以降の実施予定並びに指標の平成22年度実績につきましては、記載されております担当所管、実際に事業を展開されている担当課において、記載いただきました。本計画は、平成22年度から26年度までの計画であり、各担当所管におかれましては、当計画の推進に非常に熱心に取り組んでいただいているところでございます。委員の皆さまもお気づきのことと存じますが、すでに計画推進1年目にして、平成26年度の目標を達成している事業もいくつかございます。

それでは、各事業についてのご説明させていただきます。事業は全部で180事業ありまして、本来であれば、この場で全事業につきましてご説明させていただくところではございますが、時間の都合上、後期計画から新たに拡充又は開始することとしている事業に焦点をあて、ご説明させていただきます。後期計画から新たに拡充又は開始することとしている事業につきましては、事業No.にお印をお付けしておりますので、お印の部分を順におって説明させていただきます。では、資料2の4ページをご覧ください。事業No.25「地域子育て支援拠点事業（保育所実施分）」についてで、ございます。この事業は、児童保育課において実施いたしました。平成22年度の実績といたしましては、昨年10月から「川西南保育所」「川西中央保育所」「多田保育所」にひろば型の地域子育て支援拠点を開設し、子育て中の方々の子育ての不安や悩みの相談などに応じました。この中で「川西中央保育所」では、子育て親子が集まる場にも担当保育士が定期的に出向き、必要な支援等を実施いたしました。また、民間の「パステル保育園」では、センター型の地域子育て支援拠点として、保育園だけでなく、地域に出向いた地域支援活動を実施いたしました。この事業は、新たに3か所設置することができ、設置か所数の目標値を達成しております。平成23年度以降につきましては、事業を継続して実施してまいります。昨年度、1日の平均利用組数が6から7組ということであり、今後は、利用者の増加に向けて、活動状況の定期的な公開や利用者ニーズの把握に取り組んでいきたいと考えております。次に事業No.2

6「子育て情報提供の充実」でございます。この事業は、子育て・家庭支援課、児童保育課、こども・若者政策課で実施いたしました。平成22年度は、各課とも、広報誌や市のホームページ、「すくすく」や「ぽっかぽか」など各課独自の情報紙を用いて、定期的に情報発信を行いました。また、子育て家庭が情報を入手しやすくなるようメール配信システムの導入、市のホームページのリニューアルの導入にも努めました。平成23年度以降につきましても、この新たなシステムなどを活用し、効果的かつタイムリーな情報提供に向けて、こども部3課で連携協力して情報発信に取り組んでいきたいと考えております。続きまして、5ページにお移りください。事業No.32「子育てマップの作成」であります。この事業は、子育て・家庭支援課により実施するものでございますが、平成22年度は実績なしということになっております。といいますのは、現在、市内に「赤ちゃんルーム」設置の支援を検討しておりまして、この「子育てマップ」に「赤ちゃんルーム」の設置場所についても、掲載していきたいと考えておりますので、その時期などを見計らいながら、今後作製する予定でございます。続きまして、8ページをご覧ください。事業No.61「障がい児への医療扶助」でございます。これは保険年金課において実施した事業でございます。この事業は、重度、中程度の障がい児に対し、医療費の自己負担分の一部を助成する事業でございまして、平成22年度で達成しております。担当課では、障がい児のみの数字を出しておりませんので、この報告書には、助成者全体の数字を掲載させていただいており、平成22年度1,091人となっています。この事業は、今年度以降も、継続して実施してまいります。その下の事業No.62「児童扶養手当支給事業」に移ります。この事業は、子育て・家庭支援課で実施いたしました。平成22年8月から、母子家庭だけでなく、父子家庭についても、対象として支給を開始いたしました。適正な事務処理に努め、対象児童数は1,620人でございました。今年度以降も継続して実施してまいります。続きまして、10ページをご覧ください。事業No.80「こども医療費助成制度」でございます。これは、保険年金課で実施した事業でございます。中学生の入院に対し、医療費の自己負担分の一部を助成するものでございますが、この事業は、平成22年度に達成しており、申請件数は3件でありました。また、今年度以降は、医療費の自己負担分の一部助成をさらに拡充し、小学校の4年生から6年生の児童の外来に対し、自己負担額の一部を助成する制度を実施する予定でございます。次に事業No.81「乳幼児医療費助成制度」でございます。こちらも保険年金課で実施した事業でございます。この事業につきましても、平成22年度に達成しており、月平均12,059人が受給いたしました。今年度以降もさらに事業を拡充し、今年7月から小学校就学前までについても、医療費の自己負担額を無料といたしました。その次といたしまして、事業No.82「子ども手当支給事業」でございます。この事業は子育て・家庭支援課で実施いたしました。平成22年度、国の制度に基づき、次代の社会を担うこども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了前までの児童を養育している人を対象に支給を行いました。適正な事務処理に努め、22年度の対象児童数は、21,331人でございました。今年度9月分までは、同様の制度を継続しますが、10月分以降につきましても、今後、国会において法案が審議されるとのことですので、現在のところ未定でございます。次のページにお移りください。

	事業No.8 8「赤ちゃんルームの設置」でございます。この事業は子育て・家庭支援課の事業でございますが、平成22年度は実績はなしでございます。今年度、設置要綱を制定し、「赤ちゃんルーム」表示プレート等を作製し、順次取り組んでいく予定でございます。次に事業No.9 2「プレママ・プレパパ教室」でございます。この事業は、健康づくり室で実施いたしました。出産・育児に対する不安を解消し、プレママ・プレパパと子育てを楽しむ「エンジョイ川西子育てひろば」を開催しました。平成22年度、初めて実施した事業でしたが、参加者のほぼ全員が満足されていました。26組68名の参加がありましたが、当初見込んでいたより妊婦の参加者が少なく、課題も残っております。今後は、アンケートの結果を分析し、実施内容に役立てていく予定です。続きまして、14ページをご覧ください。事業No.1 1 2「新型インフルエンザ対策」でございます。この事業は、教育委員会教育総務課、子育て・家庭支援課、児童保育課で実施いたしました。市立幼稚園10園、市立保育所8所、プレイルーム6か所に空気清浄機を設置し、また、民間保育園には空気清浄機設置に伴う補助を行い、インフルエンザの感染予防とまん延の防止を図りました。続きまして、次のページ、事業No.1 2 0「基礎学力向上支援事業」でございます。この事業は、学校教育課で実施いたしました。市内の小・中学校で習熟度調査を実施し、義務教育9年間の中間段階と最終段階で調査を行うことで、系統的な分析、小中連携の必要性を問う有効な根拠となりました。今後は、対象学年及び調査教科の拡大について、国・県の教育に関する情勢から対応し、検討していく必要がありますが、今年度以降も継続し実施していきます。続きまして、22ページをご覧ください。事業No.1 7 2「保育所での地域子育て支援事業」でございます。この事業は、児童保育課において実施いたしました。昨年10月に「川西南保育所」「川西中央保育所」「多田保育所」に地域子育て支援拠点を開設し、子育て家庭の子育ての不安や悩みに応じました。また、川西中央保育所では、子育て親子が集まる場に保育士が定期的に出向き、必要な支援等を実施いたしました。また、民間の「パステル保育園」では、センター型の地域子育て支援拠点として、保育園だけでなく、地域に出向いた地域支援活動を実施いたしました。平成23年度以降につきましても、事業を継続して実施してまいります。次に、事業No.1 7 5「きんたくんの紙芝居・歌の活用」でございます。この事業は、子育て・家庭支援課で実施いたしました。きんたくんの紙芝居や歌を、かわにし子育てフェスティバル時に活用いたしました。今後は、子育てグループに活用していただくようPRするなど、交流時にどんどん活用していく予定です。このように、新規事業につきましても、計画推進初年度におきまして、すでに達成している事業もいくつかあり、また、達成以降も、次世代育成支援対策の更なる充実に向けて取り組んでいただいております。この表の平成23年度以降の実施予定を見ていただいてもわかりますように、さまざまな事業におきまして、継続・拡充して実施していきたいと各担当所管では考えておりますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。以上で、資料2のご説明を終わらせていただきます。
事務局	失礼いたします。そうしましたら引き続きまして、資料3、資料4につきまして、ポイントを絞りましてご説明をさせていただきたいと思っております。恐れ入りますが、お

手元の方には、A4 縦の資料、資料 3 をご用意ください。計画書本冊の方は、117 ページをお開きいただきましたと思います。こちらは、国が全国共通で指定しております、保育サービスなどの特定事業について、全部で 9 事業、11 の指標を設定いたしまして、その進捗状況、目標事業量を設定いたしましてその達成度合いを見ていこうとするものでございます。11 指標のうち主だったものについて、平成 22 年度の数値を中心にご説明させていただきたいと思います。資料 3 の網掛けになっております部分が、平成 22 年度末時点での数値ということになります。まず、一番上の通常保育事業でございますけれども、これは認可保育所の定員数を示すものでございまして、平成 21 年度の 1,170 人から 1,160 人ということで、10 人ほど減少いたしております。これは、栄保育所の廃止に伴うものでございまして、栄保育所が定員 60 人でございましたので、その分が減っております。ただ、増加要素といたしまして、「川西ひよし保育園」が定員 30 人増えております。併せまして、「川西共同保育所」が定員 20 人増えておりますので、その分、差し引き 10 人の定員減ということになっております。なお、平成 23 年度には、新しい園もオープンしておりますので、合計 1,420 人ということで、平成 23 年度以降の数値につきましては、概ね目標値を達成できる見通しが立っております。続きまして、中ほどより少し下になります「一時預かり事業」でございます。これにつきましては、民間保育園の方で実施をいただいているところではございますけれども、平成 21 年度の現状につきましては、5 か所 5 園で実施をさせていただいておったわけですが、平成 22 年度につきましても同様に 5 か所で実施をさせていただいておるところでございますが、先ほど申しあげましたとおり、平成 23 年 4 月時点では、かなりの民間認可保育園の方が開設をいただいておりますので、9 か所実施をさせていただいております。こちらについても将来的には目標達成できる見通しとなっております。その下 2 つでございますが、病児・病後児保育でございます。こちらは、病気や回復期のこどもさんを特別な施設でお預かりをさせていただくという事業でございます。病気のこどもさんは、熱がありましたら、保育所でお預かりすることができないということもございしますので、そういったニーズに対応していこうとするものでございますが、21 年度の時点ではまだ実施ができておらず、22 年度につきましても、同様でございますけれども、今後は、医療機関等とも調整を図りまして、計画期間が終わります平成 26 年度までには、ぜひ、最低でも 1 か所は実施させていただくというかたちで努力させていただきたいと考えております。その下の、放課後児童健全育成事業についてでございますけれども、こちらは、留守家庭児童育成クラブ、学童保育の指標でございます。こちらにつきましては、市内の全公立小学校において実施をさせていただいております。19 クラブ 1 分室で実施をさせていただいております。平成 22 年度につきましては、723 人の登録をいただいておりますといった状況でございます。その下でございます。地域子育て支援拠点事業についてでございますが、これは、保育所等で地域の方々にお集まりいただいて、開放させていただいて、親子で集って交流をいただいたり子育てに関する情報をお伝えしたりという事業ですけれども、平成 22 年度には市立保育所の川西南保育所、川西中央保育所、多田保育所でひろば型の事業が開設されました。ここ 7 か所となっておりますが、数字があやまっております。6 か所に

ご訂正いただければと思います。従来から実施いたしております3か所に加えまして、先ほど申しあげました3か所で実施するということで、6か所で実施をさせていただいております。以上が、国指定事業の主だった推移でございます。恐れ入りますが、資料4についてご説明させていただきます。資料4をご参照いただきますようお願いいたします。計画書本冊の方は、その次のページ、118ページでございます。先ほどの部分につきましても、指標を設けまして、達成度合いを測っていかうというものでございますけれども、こちらの方は、計画全般及び基本目標に応じてそれぞれ効果・成果を計るような指標を主に選定いたしまして、その数値によりまして計画全体の推進状況・進捗状況を把握していかうというものでございます。すべて併せますと40の指標がございます。こちらについても、主だったものでございますが、ご説明させていただきたいと思います。なお、資料の4をご参照いただきますと先ほどと同じように網掛けの部分が、平成22年度の数値ということになりますが、一部横棒を引いております数値が、計上できない部分がございます。これは国勢調査でありますとか、定期的に実施をいたしますアンケート調査でありますとか、平成22年度には、その数値が把握できないものにつきまして、横棒を引かせていただいておりますのでご了承いただきますようお願いいたします。まず、計画全般に関わる指標についてでございますけれども、出生数につきましてはご案内のとおり1,193人（平成21年度）の数字でございます。同様に合計特殊出生率につきましては、1.16というかたちになっております。ご存知のとおり、合計特殊出生率につきましては、国の方は、平成17年の1.26を底に徐々に回復をしております、平成21年の数字では1.37。一番直近の数字では、平成22年は1.39ということで、回復傾向を見せておるところではございますけれども、川西市の方では、平成15年の段階で1.07。ここを底といたしまして、じわじわと数値の方は増えてはいるのですけれども、国の数値に比べれば低いという状況が続いております。こちらについては、平成26年度に向けて「増加する」ということを目標値に掲げておりますので、現在のところは、計画策定時1.21に比べて、若干数値は下がっているという状況でございます。続きまして、基本目標Ⅰ「こどもの権利と安全を守る」という分野についてでございますけれども、ここにつきましては、9つの指標を計上させていただいております。交通事故の発生件数ですとか、不登校児童生徒の割合といった、そういった指標でございますけれども、このうち数値の計測ができていないものを除きますと、9つの指標のうち、6つの指標について、ほぼ、目標に向かって数値が改善しているといえますか、目標に近づいている状況でございます。数値が改善していないものでございますけれども、一番上の15歳以下のこどもの交通事故人身事故発生件数と下から2つ目の不登校児童生徒の割合につきましては、41件が44件に増えて、0.9%が1.0%に増えているということで、目標数値からは少し乖離傾向にあるとうこととでございます。ただ、それ以外の数値につきましては、目標に向かって改善傾向にあるというものでございます。続きまして、基本目標Ⅱ「多様な子育て支援サービスを展開する」ということとでございますけれども、こちらにつきましては、5つの指標を計上させていただいております。5つのうち数値が計上されていないものを除きまして、2つにつきましては、先ほどご説明させていただきましたとおり、数値

部会長	は改善傾向に伸びていております。保育所の待機児童数につきましては、13人から19人に増えたということでありまして、若干、数値は悪化しているわけではございますけれども、先ほどもご説明させていただきましたとおり、保育所整備により、定員増を図っておりますので、ここの数値につきましても、改善されてきているところでございます。次のページに移らせていただきます。基本目標Ⅲ「母と子のいのちと健康を守る」という分野でございます。こちらにつきましては8つの指標を計上させていただいております。このうち、目標数値をすでに達成しているものが、一番下の「虫歯のない3歳児の割合」ひとつ飛んで、「こんにちは赤ちゃん事業訪問率」、その上の「健康診査を受診した割合（3歳児検診）」については、26年度の目標値を達成しております。今後とも、こういった数値が継続するよう努力をさせていただきたいと考えております。一方、その他の健康診査を受診した割合につきましては、計画策定時に比べて下がっているといった状況でございますので、目標値達成に向けた努力を続けさせていただきたいと考えております。その下、基本目標Ⅳ「こどもの豊かな個性と生きる力を育む」といった分野につきましては、11の指標を計上させていただいております。下から2つ目、小学生肥満児出現率とその上2つにつきましては、朝ごはんを必ず食べるこどもの割合。中学校3年生と小学校6年生につきましては、それぞれ掲げました目標値を達成いたしております。ここの部分につきましても、継続して目標値に近い数値をキープさせていただけるよう努めさせていただきたいと考えております。また、それ以外の部分では、学校に行くことが楽しいというこどもの割合につきましては、目標値を85%に掲げておりますが、83%が81%に下がっておるということで、目標値からの若干の乖離傾向にございます。最後、基本目標Ⅴ「男女が参画し、地域でこどもを育てる」につきましては、3つの指標を計上させていただいておりますけれども、保護者や地域の声が学校運営に反映されていると感じている市民の割合につきましては、計画策定時18.5%に対して、平成22年度16.0%ということで、目標値に乖離傾向にございます。その上につきましては、数字は、改善されておまして、目標値は達成しているという状況でございます。以上が指標についての概況という状況ではございますけれども、40ある指標のうち目標値に向けて、数字が改善傾向にある指標につきましては、21。やや乖離傾向にある指標につきましては、10。22年度に数値のもととなる調査等が実施されなかったことにより出せなかったものが9ということになっております。ご案内のとおり、この指標につきましては、単に行政だけの努力で、この計画に掲げております事業を実施することによって単純に改善するといった性格のものではございませんけれども、やはり、われわれがその計画の実現に向けて努力していくことで、その数値が改善していくことで、結果として、一人ひとりのこどもさんが、暮らしやすい川西市になっていくことをめざしまして今後とも努力をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくご審議賜りますようお願いいたします。説明につきましては、少し長くなりましたが、以上でございます。 盛り沢山な報告でしたが、皆さんいかがでしょうか。どうぞ。何かご質問等はございませんか。
-----	---

委員	よろしいですか。病児・病後児保育事業が平成26年度の達成目標が1か所ということになっておりますが、川西市は南北に広いし、1か所ができたところで1か所では足りないと思うし、保育所に預けているものとしては、早くつくっていただきたいと親としては思うのですが。もっと沢山目標に掲げて、できるだけ早く実行していただきたいと思うのですが。
事務局	ありがとうございます。病児・病後児保育事業につきましては、今、ご指摘をいただきましたとおり、保護者の皆様から早く実現して欲しいとご期待をいただいている事業でございます。アンケート調査におきましても、非常にニーズが高い数値を示しておりまして、私どもといたしましても、一刻も早く実施をさせていただきたいと考えているところではございますけれども、医療機関と連携を図って実施をしていかなければいけないというところでもありますとか、感染症のこどもさんのために隔離のための部屋を設けないといけないなど、いろいろ実施に条件がございます、なかなか実現ができていないところですが、この計画の期間中、平成26年度までには、少なくとも、1か所以上病児を預かり、病児・病後児をお預かりさせていただき施設を設けまして、皆様のご期待に沿うようなかたちにさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
委員	今の件についてなんですけれども、予定があるのかなのかと。病児・病後児といいましても、感染症の種類によりましては、ただの風邪というものであれば預かれると。そうではなくて、この前の新型インフルエンザのようなものであれば預かれない。ただ、新型インフルエンザの時でも、ある病院では、看護師に来ていただかないといけないので、併設の保育所を開けたと。そういうふうに、ちょっと感染症によって若干分けないといけない部分もあるのではないかと思います。本当にうつってダメな場合は、隔離とか必要ですし、看護師や医師が同席するようなかたちの保育所をつくらなければならない。その場合、今度新しく病院が開設される場所もあるので、そういうところに働きかけるのも一つだし、市民病院でされとか、あと、三市一町でつくっておられる阪神北の昼間を利用されとか、いろんな方法があると思うのですが。その前に、風邪で預かってもらえるようなところが必要なのか。それを預かれない保育所は、とにかく学校においても、保育園においても薬すら飲ましてもらえないところもあるのでそのあたりの調整も必要かと思います。
事務局	実施予定につきましては、こちらの計画にも計上させていただいておりますし、市全体の総合計画にも計上させていただいておりますので、計画期間が終了するまでには、ぜひ、実現させていただきたいと考えております。ご指摘いただきましたとおり、感染症のこどもさんをお預かりさせていただくにあたりましては、細心の注意を払っていくことが必要かと考えておりますけれども、基本的には、それぞれ、最初に見ていただいた主治医の先生がいらっしゃいますので、他の市の例を見ていると、主治医の先生から意見書をもらっていただいて、「このこどもさんは、病児施設でお預かりしていいですよ。病後児保育施設でお預かりしてもいいですよ」というご意見を頂

	戴した上で、お預かりさせていただく。その際に、隔離が必要な子どもさんにつきましては、「隔離が必要だ」というところにチェックを入れていただくと。そういうようなかたちで運用されていると聞いておりますので、私どもの市といたしましても、先進の自治体の例を参考にさせていただきながら、病気が悪くなったり、事故が起こっては元も子もございませんので、子どもさんの状況に留意しながら、お預かりができるようにぜひとも早急に実現させていきたいと考えているところでございます。
部会長	病児・病後児保育の問題は、私はこの会を20年近くやっておりますが、この会が始まって以来の懸案事項で、ずっとご意見がございましたが。
委員	要は割に合わないのですよね。医師や看護師を置くにあたって、何人きていただけるかわからないですしね。そのような中で、宝塚市では、民間の医院の先生がされているところもあるのですよ。やはり補助が出ないと無理ですよね。補助を出してするのか、それとも、今度新規に、病院として、ある病院が変わるのでそこへお頼みするとか、市民病院にお頼みするとか、その辺のところをお考えになっておられるのかどうかということをお聞きしたいのですが。せっかく変わるときがチャンスなので。その病院には小児科もございますので。オープンされるということも聞いておりますので。まだ、ちょっと5年後ぐらい先の話らしいですけども。そのようなところへの働きかけをお願いしたいと思います。
事務局	補助につきましては、国・県の方から補助もできます。私ども市の補助金も合わせまして、一定の基準をもちまして補助はさせていただく予定はしております。今、ご指摘いただきましたとおり、その基準どおりの補助金ではとても運営できない。赤字になってしまうといった状況でございます。委託させていただくにあたりましては、委託先の医療機関なり、施設の方とも、十分に調整させていただいたうえで、実施をさせていただきたいと考えております。実際の委託先についてですけども、この場で、どこそこ病院、どこそこ施設にというようなかたちでご説明させていただくことができれば一番ご安心いただいて、どこそこについていづろできるのだなとご安心いただくことができるのかとは思いますが、少しまだそこまでは至っておりませんので。私どもといたしましては、確かに懸案事項ということで、少しでも早く実施したいと思っております。それに向けて努力はしているところですけども、今しばらくご猶予いただけたらというふうに考えておりますのでよろしくお願いいたします。
部会長	いかがでしょうか。難しい問題が多々ございますけれども、できるだけ早急に実施していただけたらと思います。そのほかに何かございますか。
委員	それから、予防接種事業。これ昨年度から、子どもさん5歳未満でヒブ肺炎球菌とかが始まって、一時死亡事例が出ましたのでちょっと中止していましたが、予防接種が非常に変わります。来年度以降、ポリオの不活化も出てきたりもあって、保健センターの方も、予防接種の接種率がここにあります。どういう子がどういう予

	防接種をしたかの電子化が、予算が通って十分できるはずなのに、進捗していない。ここにそういう計画がのっていないのですけれども、やはり必ず把握しておかないと混乱しますので。そのあたり、懸案として入れていただけたらありがたいなど。医師会としての意見ですが。特に麻疹・風疹。中1高3。始まっておりますけれども、川西の接種率は70%にっていない。兵庫県下でもワースト3。ワースト1を取ったこともありますので。その辺はやはり予防接種の台帳ができていないせいもあるとご指摘を受けておりますので。電子化の予算があるのであれば、子育てのこのプランにも入れていただいて、早く電子化された予防接種台帳をおつくりいただくと。そして、間違いのない予防接種をしていただくということでお願いできたらと思います。
事務局	ただ今、委員の方からご指摘がございましたけれども、今、おっしゃられましたとおり、予防接種の台帳化はしているのですけれども、その電子化がまだできておりません。今年度からその作業に入るところでございます。それにつきましては、今年度中には、あらかたの分ができるように予定しておりますので、その分につきましては、進捗しておるところでございます。あと、予防接種全般、おっしゃられましたように、子宮頸がんワクチンでありますとか、ヒブワクチン、小児肺炎球菌等新しいものを助成事業として今年度させていただいておりますけれども、それについても来年度以降、それが定期接種化するのか、定期接種といいますのは普通の日本脳炎などと同じように、一般的な予防接種化するのかまだはっきり決まっていないのが現状でございますけれども、今の水準を維持していくということは担当としては考えております。あと、日本脳炎につきましても、平成17年から21年まで止まっていたものが、昨年度から再開されておまして、今年度から再開も全面再開ということで、接種者もかなり増えるということでやっております。このように、予防接種事業自体が、社会の流れに対応しまして、行政としましても、対応しておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上です。
部会長	そのほかに何かございますか。ないようでしたら、その他として、事務局から何かございますか。
事務局	それでは、最後になりますけれども、次世代育成支援対策行動計画の本体の計画ではないのですけれども、実施計画の側面を持ちます「保育所整備計画」につきまして、その進捗状況につきまして、併せてご報告をさせていただきたいと思っております。恐れ入りますが、右肩に資料5と書かれました資料をお手元の方をお願いいたします。こちら資料5の方には、保育所整備計画の第5章にあたります。施策や事業を羅列したところでございますが、その施策事業の表の部分について項目を計上させていただいて、併せて、アンダーラインを引いた部分でございますけれども、平成22年度末の時点の進捗状況につきまして、記載をさせていただいておりますのでございます。こちらについても、主だった部分につきましてご報告をさせていただきます。まず、最初のページの基本目標1「待機児童解消に向けた保育所整備、実現の方策」について、でございますけれども、こちらにつきましては、民間認可保育所3か所を新設して

いこうということで、右手の方に掲げております、清和台中学校区につきましては、川西けやき坂保育園が、多田中学校区につきましては多田こどもの森保育園が、平成23年4月に開設いたしております。川西市南中学校区につきましては、仮称ではございますが、あおい宙川西保育園が来年の3月に開設させていただく予定で、今、工事を進めているところでございます。JRの北伊丹の駅の宝塚方面の進行方向に向かいまして左側、西猪名公園のすぐ北側に特別養護老人ホームと一緒に整備をさせていただく事業でございます。その下の低年齢児の受け入れ拡大を図るため、既存施設の改築等も含め、保育所定員の見直しを図るということで、川西共同保育園の増改築事業について、平成23年3月に定員増を実施していただいております。その下の部分ですけれども、保育所と幼稚園の連携についてで、ございますけれども、ここにつきましては、認定こども園について調査の検討を進めるといことで記載をさせていただいているところですが、現実の方は、民間幼稚園の清和台めぐみ幼稚園が幼稚園型ですけれども22年4月に開設。エンゼルキッズ清和台が、幼保連携型ということで平成23年4月に開設をいただいているところでございます。次のページに移らせていただきます。基本目標2「保育の質と地域の子育て支援の向上に向けた保育所整備」についてで、ございますけれども、先ほどからご議論いただいております病児・病後児保育の部分につきまして、(2) 多様なニーズに応える保育ということで、こちらは未着手ということになっておりますけれども、速やかに実施に向けて取り組むということでございます。事業につきましては、具体的に着手というところには至っておりませんが、先進事例の視察などということで、下準備をさせていただいております。計画期間中にはぜひとも実現をさせていただきたいというふうに考えております。(3)の部分につきましては、公立保育所の拠点化や地域保育所等のネットワーク化や、家庭支援保育士を配置するなどの記載がございますけれども、こちらの部分につきましては、川西南、川西中央、多田保育所を拠点保育所として位置づけまして、それぞれに名称の方が地域子育て支援保育士ということで、計画とは少し違ってきておりますけれども、広く地域の子育てを支援する保育所、保育士というかたちで体制を整えさせていただいているところで、ございます。次のページでございます。基本目標3「安全・安心で快適な保育所整備実現の方策」の部分でございます。こちらにつきましては、公立保育所における対策ということで、2点ほどに未着手という項目があがっております。1点は、公立保育所の耐震工事、もう1点は、大規模改修ということでございますが、耐震改修につきましては、市の施設全体の耐震改修計画の中で速やかな着手に努めるというかたちにさせていただいております。耐震診断を実施いたしました保育所につきましては、幸いなことにIS値、すぐにでも改修をしないと危ないのはIS値が0.3未満の保育所ですけれども、それは幸いにしてございました。ただ一部改修が必要なところもございますので、それにつきましては、できるだけ早く、改修をさせていただきたいというふうに考えております。市の施設全体で、さまざまな施設がございますので、優先順位をつけまして、たとえば、避難所に指定されているところでありますとか、そういったところから優先にというところではございますけれども、できる限り早く必要な改修を実施させていただきたいと考えております。以上全体を通じまして、19の事業を計上さ

	せていただいておりますが、着手済みといたしましたものにつきましては12。継続実施につきましては4。未着手につきましては、今申しあげました3つの事業がございます。以上が平成22年度の川西市保育所整備計画の進捗状況につきましてご報告をさせていただきました。計画期間につきましては、26年度までの計画ですので、次世代育成支援対策行動計画と併せまして、こちらの実現につきましても努力をいたしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。
部会長	ただ今の説明につきまして、何かございますか。
委員	保育所についてではないのですけれども、私は川西市立の幼稚園のPTA連絡協議会の役員をしているのですけれども、保育所についてはいろいろと聞いているのですけれども、この会に参加していると。そこで、幼稚園についてもいろいろ考えていただいているのか教えていただきたいのですけれども。幼稚園でも、預かり保育をして欲しいとかいろんな保護者の要望がございまして、そこら辺を少し教えていただいてもよろしいですか。
事務局	幼稚園についてなんですけれども、先ほどご説明させていただきましたのは、保育所整備計画であり、保育所の部分について主にご説明をさせていただいたところでございます。市の方の機構で申しあげますと、幼稚園は、教育委員会の方が所管をいたしておりまして、市立幼稚園につきましては、教育委員会の方で担当させていただいて、そこでも、こちらと同じようなかたちの審議会ということで、ご協議ご審議をいただいていた経過がございます。公立の幼稚園の部分では南部の地区の方で、懸案でありました3歳児の保育を1か所で実施をしていこうというかたちで、市の方としても取り組んでいるところでございます。また、ご要望の部分につきましては、幼稚園の審議会の方でご協議はいただけることとは思っておりますが、今、ご質問いただきましたことにつきましては、教育委員会の担当の所管の方にも伝えさせていただきますので、よろしくお願いいたしたいと思います。
部会長	他にないですか。
委員	保育所の耐震についてなんです。先ほど説明を受けたのですがわかりにくかったので、何とか基準をクリアとありましたが、危なくない。普通の耐震基準は全部クリアしているということなのですかね。
事務局	耐震基準、耐震診断につきましては、IS値という指標が一つのものさしになっておりまして、IS値が0.3未満の建物については、震度6強以上の地震等の衝撃に対して倒壊し崩壊する危険性が高いと規定されております。平成21年度に耐震診断を実施いたしました保育所につきましては、0.3を下回る保育所はなかったということでございます。

委員	耐震診断を実施いたしました保育所とおっしゃったのですが、されてない保育所もあるのですか。
事務局	実施いたしましたのは、耐震診断が必要な5つの保育所について、実施をいたしております。この部分についてはIS値0.3を下回る保育所はなかったと。それ以外の保育所は、川西中央保育所は、新しい基準で建てておりますので、診断を行う必要がないことと、また木造の保育所及び一部の老朽化した保育所につきましても、耐震診断の対象から外れております。川西南保育所、小戸保育所、川西北保育所、多田保育所、緑保育所につきましては、先ほど申しあげましたとおり、0.3以下の施設はございません。ただ、一部、耐震診断の中で対応が必要と出てきている部分もありますので、その部分につきましては、可能な限り早く対応させていただきたいと考えております。
部会長	この耐震強度の問題につきましては、単にこどもの安全を守るというだけではなくて、地域の災害時の拠点になるというわけですし、今、こうしてみると震度6であれば大丈夫だという話ですが、昨今の地震は、震度6程度の生易しいものではなくて、震度7などがございます。この前の東北の地震などは、震度でいえばどの程度になるのでしょうかね。地震のエネルギーは、一つ上がることで10倍ぐらい破壊力が違うと聞きますが、その厚生労働省の基準がどうであろうと川西市としてさまざまな点でお考えになってはどうでしょうか。
事務局	そのIS値に対する見方といいますのは、今、ご意見がありましたように、この東北の大震災以降、想定外という言葉が、どうも災害にはなじまないようなお話がある中で、旧来のIS値といいますのは、専門的な見方をするもので、どういう出し方をするものかわれわれも少しわからないところがあって、業者の方に専門的な調査を依頼しておるところでございます。そのIS値の0.3が緊急的な対応が必要だ。あるいは、0.6がありましたら、通常震度6強の地震でも倒壊する危険性が少ない。だから、「0.6までもっていきなさい」という話がよくあるのですけれども。その数値自体を、「もう少し国全体でも基準を見直してみようか」という意見も一部でいっているようですので、その辺もわれわれといたしましても良く見ながら、お子さんの安全を預かるということですから、やはり、遺漏のないように対応していきたいと考えておるところでございますので、よろしくお願いいたします。
委員	今の件では、公立の幼・小・中学校では、もっと悪いところがいっぱいあってそっちを先にしないといけないという予算の面もあるということを聞いているのですが。
事務局	少し、市が全体で平成20年、21年ぐらいに、確か市の全体的な公共物の耐震診断を実施したと聞いています。今、委員からお話がありましたように、川西市の場合、昭和40年代の中葉以降に、非常に大きく都市化が進展して、いっぺんに学校を建てたということで、非常に老朽化が進んでおります。実際、学校を診断いたしますと、

部会長	IS 値が0.3以下のいわゆる緊急の対応が必要な学校がいくつかありまして、これを一斉にできればいいのですが、莫大な費用がかかるということで、まずは、0.3以下の部分を何とか大丈夫なところまで持っていきましょうということで、それを年次的に平成27年度ぐらいまでかけてやっていきましょうということになっておりますから、それ以降、0.3を上回る部分につきましてもいろいろございますから、その辺を次の段階でやっていくということで、今、おっしゃっていただいたとおり、緊急の部分から順次やっているというのが本市の状況でございます。 いかがでございますか。この際ですから、ご意見をおっしゃっていただきましたら。ございませんようでしたら、これにて本日の専門部会を終わりたいと思います。
------------	--